

CONTENTS

5月臨時会
6月定例会

女満別中央病院の建物取得……………2

議員4名が一般質問……………6

① 後藤議員 ② 品田議員

③ 上地議員 ④ 三條議員

所管事務調査を行いました！……………14

おおぞら
議会だより



8月3・4日めまんべつ観光夏まつりが開催され、迫力ある打ち上げ花火に、来場した皆さんは夏の暑さも忘れ見入っていました。



 No.53

OZORA
GIKAI DAYORI

発行日 令和元年(2019年)8月30日

一般会計6億2,661万円追加補正

総額87億8,192万円に

令和元年

6月定例会

6月19日・20日

大空町議会6月定例会は、令和元年度一般会計予算などの定議案など12件、議会側議案8件を審議しました。

補正議案4件、専決処分の承認や条例制

女満別中央病院の建物取得 大空町森林環境譲与税基金条例を制定

専決処分の承認

平成30年度介護サービス事業勘定特別会計で、介護予防サービス計画収入が見込みより減少し、不足額が生じたことから、翌年度の歳入を繰り上げて充てるため、令和元年度大空町一般会計補正予算(第2号)と、令和元年度大空町介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第1号)の2件の専決処分が報告され、承認しました。

病院建物の購入

女満別中央病院の建物を町が取得し、運営する法人に貸し付けることで、法人経営の安定を図ることを目的とした建物の購入について、可決しました。



地域医療の一翼を担う「女満別中央病院」

三條議員

Q 基幹病院の建物として、十分機能が果たせるよう、不都合なところがあれば早目に修繕願いたい。

答 建築から20年以上経過している建物なので、法人側と連携を取り、必要な修繕を行うてまいります。

工事請負契約

中央さくら団地町営住宅H棟建設工事、女満別中学校大規模改修工事(建築主体)、女満別中学校大規模改修工事(設備)の契約締結について可決しました。

組合規約の変更

北海道市町村職員退職手当組合、北海道市町村総合事務組合、北海道町村議会議員公務災害補償等組合の構成団体が脱退したことに伴い、規約の一部を変更することに可決しました。

特別職給与条例の一部改正

町長の月額給与(72万円から75万円)の引き上げについて提案され、可決しました。

町長

町長職の給与について、報酬等審議会の答申どおり提案させていただきます。今回の答申は、管内市町村との均衡の中で改定が必要との判断をいただき、令和2年度からの改定となります。

国民健康保険条例の一部改正

地方税法施行令の一部を改正する政令により、賦課限度額が医療分で3万円引き上げられたことに伴い、賦課限度額の引き上げを行うとともに、標準保険料率の賦課方式に合わせるため、町の賦課方式を所得割、平等割、均等割の3方式とし、資産割を廃止することについて、可決しました。

三條議員

Q 資産割を廃止することにより、保険料の総額に影響が出ないのか伺いたい。

答 資産割を廃止した場合は、従前の試算方式よりも900万円程度減額となります。本年度は、賦課限度額の引き上げ及び繰越金等を試算し、資産割を廃止しても運営できるという方針に基づき決定したものです。

消費税率引き上げに伴う関係条例の一部改正

消費税率が引き上げとなることに伴い、公の施設の現行の使用料などを規定した関係条例を改正することについて、可決しました。

森林環境譲与税基金条例の制定

森林施業や人材育成、木材利用の促進などの財源に充てるために、基金を設置することを目的とした条例の制定について、可決しました。

各会計補正予算

令和元年度一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業勘定特別会計、簡易水道事業特別会計の4会計の補正予算について審議し、可決しました。

三條議員

Q 女満別中央病院の貸付料は、月額いくらか。

答 土地と建物を合わせた貸付料の月額額は351万9千円ほどで、10月の増税後に358万1千円ほどになると見込んでいます。

三條議員

Q 地域情報通信基盤整備推進事業の概要と今後のスケジュールは。

答 日々の生活において、情報を取得するための光通信網は不可欠であり、この事業により農村地域に光ファイバーの伝送網を張りめぐら

せ、情報基盤の整備を図ります。

今年度は、この伝送網の整備に向けた詳細設計を行い、令和2年、3年度の整備を目指していきたいと考えています。

三條議員

Q 高校魅力化推進事業の情報通信環境構築業務委託料の目的と整備内容を伺いたい。

女満別高校の教育活動の充実と、魅力化の推進、円滑な再編統合に向けて、両校にデジタルホワイトボードとインターネット環境を整備し、双方方向のコミュニケーションを図ることを考えています。



三條議員

Q 森林環境譲与税が、以降、1千万円以上に増

加しているが、その内訳は。

譲与税の配分は、森林環境税を元にして配分されることになっており、令和元年から3年度までは754万円、3年度からは1千131万円、令和15年度には2千545万円と試算をしています。

三條議員

Q 緑豊かな森づくり事業補助金の内容を伺いたい。

森林整備のための造林事業や、除間伐事業、下刈り事業に対し、従来より補助率を増加させ、所有者負担を軽減させる内容です。

次年度以降は、他の市町村の取り組み状況などを参考に、町としても検討してまいりたいと考えています。

三條議員

Q 減債基金の利子や出資配当金が増額補正となっているが、こ

の内容について具体的に伺いたい。

減債基金の利子の内容については、3億4千425万円の元本を額面単価100円に対し103円30銭で売却をした収益1千75万5千円と、売却後の元本と売却益を定期預金に積み立て、年間の利息相当分36万3千円を併せ、1千11万8千円のうち、当初予算に計上している185万9千円を除いた925万9千円が、増額補正という内訳です。

三條議員

Q 資産の運用については必要と思うが、原資が公金なので、要綱などを定め進めたほうがいいのではないかと。

今後のあり方については、内部で十分に検討し対応していきたいと考えています。

令和元年度各会計補正予算結果

- 一般会計 6億2,661万5千円追加
- 国民健康保険事業特別会計 171万7千円減額
- 介護保険事業勘定特別会計 1,911万4千円追加
- 簡易水道事業特別会計 152万9千円追加

要望意見書

2件の要望意見書について、可決しました。

債権の放棄

破産法の規定により、債務者がその責任を免れた水道料3万7千290円の債権を放棄することの報告がありました。

繰越明許費繰越計算書の報告

古梅地区基幹水利施設管理事業の移動式散水施設修繕料46万2千円を、令和元年度へ繰り越した報告がありました。

法人の経営状況報告

めまんべつ産業開発公社、東藻琴芝桜公園管理公社の経営状況について報告がありました。

例月出納検査報告

2月から4月までの現金の出納状況及び基金の状況について、検査結果の報告がありました。

新たな過疎対策法の制定に関する要望意見書（要旨）

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところであるが、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、極めて深刻な状況に直面している。過疎地域は、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地域温暖化の防止などに多大な貢献をしている。現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効となるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要であり、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守る要望意見書（要旨）

日米貿易協定交渉が開始され、日本政府は過去の経済連携協定の内容が最大限とする日米共同声明に沿って交渉するとしているが、すでに米国からは農業分野での先行妥結やTPPを上回る関税撤廃・削減や輸入枠拡大を求める業界団体からの圧力が高まっており、生産現場では不安を募らせている。TPP11及び日EU・EPA協定発効によって、牛肉やチーズなど農産品が前年より輸入増加する状況下、強硬な要求に屈すれば、日本の農業及び関連産業や地域経済・社会が甚大な影響を被ることになり、国内農業・農村の崩壊につながる危険性がある。
★上記2件の要望意見書を全会一致で採択し、国に対して提出しました。

専決処分の承認

◆予定されている消費税率の引き上げに際し、需要変動の平準化等を図る観点から、子供の貧困に対応するための個人住民税の非課税措置の導入等を講ずることとされたことから、条例の改正が必要となり、専決処分したことが報告され、承認しました。

◆経済社会の構造変化への対応や所得再分配機能の回復の観点から、地方税法施行令の一部改正されたことに伴い、国民健康保険条例の改正が必要となり、専決処分したことが報告され、承認しました。

◆介護保険法施行令等において、低所得者の保険料軽減強化として実施されている所得の段階別減額賦課に係る保険料率の算定基準が改正されたことに伴い、介護保険条例の改正が必要となり、専決処分したことが報告され、承認しました。

5月臨時会

一般会計補正予算

女満別中央病院建物購入費に2億1,799万8千円を追加補正

大空町議会5月臨時会では、専決処分の承認5件、物品の購入2件、補正予算1件を審議しました。

建設課

◆除雪プレダの購入
指名競争入札の結果、コマツカスタマーサポート北海道カンパニー北見支店が購入金額4千917万円で落札しました。

◆地方交付税等の額が確定したことから、一般会計補正予算を専決処分したことが報告され、承認しました。

物品の購入

◆4月に支払う平成30年度の医療費に不足が生じたことから、国民健康保険事業特別会計補正予算を専決処分したことが報告され、承認しました。

建設課

◆道路除雪で家の入口を塞がれるという苦情がよくあると思うが、この装置によって入口の反対に除雪をすることが可能か。

三條議員

右や左に雪を寄せる動作が可能になります。



安全な冬道確保に向けた除雪作業

一般会計補正予算

◆女満別中央病院建物購入費に2億1千799万8千円の追加は、町民が町内で持続的かつ安定的

三條議員

◆女満別中央病院の経営状況はどうなのか。

①先日建物を見学したが、水回りも含め補修が必要な箇所が相当見受けられることから、補修経費等について、基幹病院への補助制度として国などに要望することも必要と思うが。

◆経営の状況ですが、平成29年、30年と病院を運営する法人が2年連続の赤字となっております。最近5年間の入院患者が18%、通院患者で12%ほど減少しており、入院外来を合わせた診療収入で9千万円以上の収

入減となっております。女満別中央病院の支出の総額は、年度当たり8億5千万円程度で、そのうち建物の賃借料が8千100万円と9%程度を占め、経営の負担となっております。今回、町が建物所有者である有限会社メディカから購入し、町から貸し付けることにより、賃借料が年間4千万円程度に削減されることから、経営の安定に努めていただきたいと考えます。補修等は、建築から20年が経過する建物で、改修済みの部分もあり比較的良好と認識していますが、水回り部分は、経年劣化によるトラブル等が発生している状況です。また、今回の建物は普通財産として取得をし、貸し付けることから補修経費などについては、補助の対象とはなりません。今後とも国や道に対し、財政支援が受けられるよう要望してまいります。現在、町は基幹病院医療環境等充実事業補助金交付要綱に基づき、補助



町が建物を取得し、法人へ貸し付けることが必要と判断された「女満別中央病院」

（購入する女満別中央病院施設の概要）

◆建物の規模等	病院、鉄筋コンクリート造 3階建、5,273.46㎡
◆購入の金額	2億1,799万8千円
◆購入の相手方	女満別西4条4丁目1番29号 有限会社メディカ 取締役 曾我 早奈絵

補助金額を検討してまいりたいと考えます。

両農協と大空町農業について 考える組織づくりは？

町長 ▶ 今後、その組織化に向け取り組む

問 昨年12月にTPP今年2月にEPAが発効され、国は攻めの農林水産業への転換を実現すべく、競争力を高めるための取り組みを行っています。6月7日には、農業新技術の現場実装推進プログラムを策定し、スマート農業の普及を加速させる見通しです。

少子高齢化の時代を迎え、大空町の農業においても、農家人口の減少が予想され、それに伴い作付面積の拡大や担い手の確保、労働力の確保、そして、労働環境の改善が必要となり、今後はスマート農業の推進が不可欠であると考えます。

このような中、農業が基幹産業である大空町には、女満別町農業協同組合、オホーツク網走農業協同組合の二つの農協が存在しますが、大空町農業の全体について、行政と両農協が一堂に会し、話し合う場が設けられてはいません。

農業振興を図る上での課題や問題点について、どう認識されているのか。



ごとう しのぶ 議員 後藤 忍

町長 現在は新たな取り組みや事業の推進について、必要に応じ、農協の組合長などトップ同士で個別に協議を行ったり、事務レベルで協議を行っている状況にあります。

しかしながら、農業の全体や将来について、両農協と行政が一堂に会し、協議するという状況にはなっていない。それぞれの農協には、過去の経緯や経営の考え方に相違があり、また、営農指導等においても違いがあることを認識しています。

オホーツク網走農協は、網走市と大空町に属し、女満別町農協と違った環境にあります。農業振興や同じ事業の取り組みにおいても、その手法に違いがあるものと認識しており、行政としても調整の難しさを感じているところです。

問 農業振興を図る上で、今後の農業施策の変化に柔軟に対応していくためにも、両農協とともに情報を共有しながら、共通の認識を持つて、農業振興を推し進めていく必要があると考えます。

行政と両農協、関係機関を交えて協議する場を設ける考えはあるのか伺いたい。

町長 協議をする場合は必要だと考えています。既存の協議会、例えば農業再生協議会の組織を見直しするということが良いのか、一方で、それに捉われず、新たな組織を設けたほうがより簡便で迅速に動くことができるのか、また、ご指摘のありましたように、両農協ももちろんでありま

すが、さまざまな農業の関係機関、団体があり、そういった方々に、どこまで参画をいただき、将来の大空町農業を議論していくかということについて決めかねているところです。

ご質問の向きは十分理解しますので、今後、その組織化に向け取り組んでまいります。



穂がたわわとなった収穫間近の麦畑

農業新技術の現場実装推進プログラム

農業者や企業、研究機関、行政などの関係者が、共通認識を持って連携しながら開発から普及までに至る取組を効果的に進め、農業現場への新技術の実装を加速化し、農業経営の改善を実現することを目的として農林水産省が策定。
(詳細はQRコードからアクセスしてください。)



我が町政を問う 一般質問

6月定例会では、4人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。なお、全文記録(議事録)は、図書館にて閲覧または町議会ホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

【後藤 忍】

1. 今後の大空町の農業振興について

【品田 好博】

1. 高齢者のゴミ出し支援について
2. 定住団地の環境整備について

【上地 史隆】

1. 在宅医療・介護連携推進事業について
2. 移住・定住者の住宅対策について

【三條 幸夫】

1. 網走湖の浄化対策と内水面漁業の現状と課題等について
2. 公金の資金運用について
3. 女満別小学校から児童館までのアクセス道路の整備について
4. 図書館の現状と課題について



議会インターネット中継・録画映像のお知らせ

議会の情報公開を進めるため、審議状況をインターネット上でライブ映像、録画映像を配信しています。傍聴に行けない方など、ご家庭のパソコン、スマートフォン、タブレット等でご覧いただけます。

地域の環境改善について

町長 ▶ 法令や条例に基づき、解決に向け努力する

問 行政で1回綺麗にしてあげると、町民の皆さん方も、行政の力というものに理解を示してくれるのではないかと思います。

町長 職員が近年訪問した時には、お会いできなかったようです。

問 当事者と接点を持ったことはあるのか。

町長 家屋や家屋の周辺の状況については、町としても把握しています。また、町政懇談会などでも何とかしてほしいとの話を伺っています。

問 町内にある家屋の環境が著しく悪いと苦情が相次いでおり、このような状況になった経緯は分かりませんが、随分長い間放置されていると思われませんか。

町長 この状況を把握しておられるのでしょうか。解決策は講じているのでしょうか。町長は、どのように考えているのか。

問 今、この現実の問題を解決するために一歩進めてもらいたい。

町長 町の廃棄物の処理条例に、土地又は建物の占有者が適正に管理されていない場合は、必要な措置を講ずるよう指導し、または、勧告することができるとしていますが、解決に向けて具体的な策を講じてこなかったことに対し、大変心苦しく思っており、反省するところでです。

喫緊の課題と捉え、法令や条例に基づきしっかりと手続し、周辺の皆さんのご迷惑を1日でも早く改善できるよう、厳正に取り組んでまいりたいと考えます。



北海道町村議会議員研修会に参加しました

6月25日、札幌コンベンションセンターで北海道町村議会議員研修会が開催されました。

政治評論家の有馬晴海氏による「どうなる?今後の日本の政治」、中央大学名誉教授の佐々木信夫氏による「地方はどう変わるか~議会は どう変わるか、自治体をどう変えるか~」を演目とした講演があり、議員11名が参加し受講しました。



有馬晴海氏



佐々木信夫氏

議会の傍聴はお気軽に!

- ◆ 定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。また、臨時町議会は必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
- ◆ 詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

9月定例会は、**9月11日(水)から**開かれる予定です。

高齢者に対する「み出し支援」の必要性は

町長 ▶ 先進事例を調査し、今後検討したい

問 高齢化が進む中、病気や身体衰えによって、自力でのみ出しが困難な高齢者が増えているとのことですが。

また、高齢者人口の増加に伴って、高齢者の単身世帯も増える現状が浮き彫りになってきました。2040年には、単身世帯は40%近くに、夫婦のみ世帯より、10ポイントも上回ると予想されています。

環境省は、自治体などが「み出し支援制度」の拡充に乗り出すよう方針を決めたとの報道があり、当町へも支援状況の調査があったと思いますが、高齢者の現状について、どのように回答したのか。

また、この「み出し支援」の必要性についてどのように考えているのか。

町長 近年「み出し」が困難となられた高齢者の支援が全国的な課題となっています。

平成27年の調査によりますと、高齢者の「み出し支援」がある自治体は23%、本年の調査でも同じ結果となっています。高齢者に対する「み出し支援」の必要性については認識していますが、具

体的な検討には至っておりません。現状や原因、町民の方々の意向を把握し、先進事例も調査して、今後検討してまいりたいと考えます。

福祉課長 本町の高齢化の推移は、大空町まち

・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の中で推計しています。（表1）
年々人口が減少していく中にも、65歳以上の高齢者が増加し、団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、75歳以上高齢化率は2割を超えるのではないかと推測しています。



戸別収集のごみステーション「女満別地区」

住民課長 本町の回答内容は、今後「み出し」が困難になる高齢者が増えることと予測しているものの、現状では「み出し」の移動や新設、介護ヘルパー等により対応ができています。また、制度を導入するにあたり、予算、人員や受託業者の確保、福祉部門との連携が課題と回答しています。

問 これから人口が減少することによって高齢化率が上がる可能性があります。

網走市では平成22年度から支援制度を始めており、主にシルバー人材センターに委託されているが、本町も先を見たとき、どのように考えているのか。

町長 今時点ではそれほど必要ということには至っておりませんが、今日思い立って明日から実行できるものではないことから、今のうちから検討していかねばならない課題と受けとめています。



しなだよしひろ 品田好博 議員

30回程度、質問しています。皆さんにとって、どんな効果がありましたか？なかなか難しいものです。何回やっても、一年生ですネ。

(表1) 大空町における高齢者数の現状と今後の見込み

区分	大空町全体		高齢者(65歳以上)		後期高齢者(75歳以上)	
	人口	比率	人口	比率	人口	比率
平成26年5月末	7,765人	31.32%	2,432人	31.32%	1,379人	17.76%
令和元年5月末	7,150人	35.45%	2,535人	35.45%	1,356人	18.97%
令和7年(推計)	6,575人	39.47%	2,595人	39.47%	-	-

(表2) 令和元年度の見守りネット対象者数

世帯数	65歳以上(うち単身者)	75歳以上(うち単身者)
817世帯	1,219人(361人)	591人(202人)

在宅医療と介護の連携はできているのか

町長 ▶ 町独自の在宅医療と介護の取り組みを進めたい



うえちふみたか 上地史隆 議員

収穫前の麦畑が太陽に照らされ黄金に輝き綺麗でした。身近な景色ですが、思わず見とれてしまいました。



昨年開催の「大空町介護予防講演会」

ります。そのことについてどう考えているのか。

問 在宅医療・介護連携推進事業は、介護保険法の地域支援事業の包括的支援事業として位置づけられ、平成30年4月からは、全ての市区町村で実施することになっています。

町長 1点目の資源の把握は、事業所が少なくてもあり、日常の情報交換の中で取り組んでいます。

問 1点目の資源の把握は、事業所が少なくてもあり、日常の情報交換の中で取り組んでいます。

町長 町で作成している資料は配慮に欠ける部分もあるように感じましたので、今後この点を踏まえ、改正したいと思っています。

町長 現在開催しております。また、看取りの関係で、昨年、保健師が研修会にも参加しています。最後を自宅で迎えたいと希望する方が非常に多い中で、地域の医療機関や介護機関と今後も協力しながら進めてまいりたいと考えています。

構成され、①地域の医療・介護サービス資源の把握、②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討、③切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進、④医療・介護関係者の情報共有の支援、⑤在宅医療・介護連携に関する相談支援、⑥医療・介護関係者の研修、⑦地域住民への普及・啓発、⑧在宅医療・介護連携に関する相談支援、

町長 2点目の対応策の検討は、医師や看護師、ケアマネジャーによる連絡会を現在、月1回のペースで開催しています。

町長 8点目の近隣市町村との連携ですが、網走地域多職種連携チームの構成員となっており、その会議に参加し、各市町村との連携を図っています。

問 6点目の医療・介護関係者の研修で、介護職を対象とした医療関係者の研修を行うとあります。せっかく保健師が研修を受けて学んでいま

問 7点目の地域住民への普及・啓発の中に、地域住民を対象にしたシンポジウム等、または在宅の看取りについての講演会等の開催があ

4点目の情報共有の支援として、入院時の医療機関の求めに応じて、既存様式などを活用して連

問 3点目の体制の構築は、十分できているとは言えない状況です。

町長 8点目の近隣市町村との連携ですが、網走地域多職種連携チームの構成員となっており、その会議に参加し、各市町村との連携を図っています。

問 6点目の医療・介護関係者の研修で、介護職を対象とした医療関係者の研修を行うとあります。せっかく保健師が研修を受けて学んでいま

問 7点目の地域住民への普及・啓発の中に、地域住民を対象にしたシンポジウム等、または在宅の看取りについての講演会等の開催があ

移住・定住者のために新たな造成を行わないのか

町長 ▶ 空洞化しないように中心部の造成も検討したい

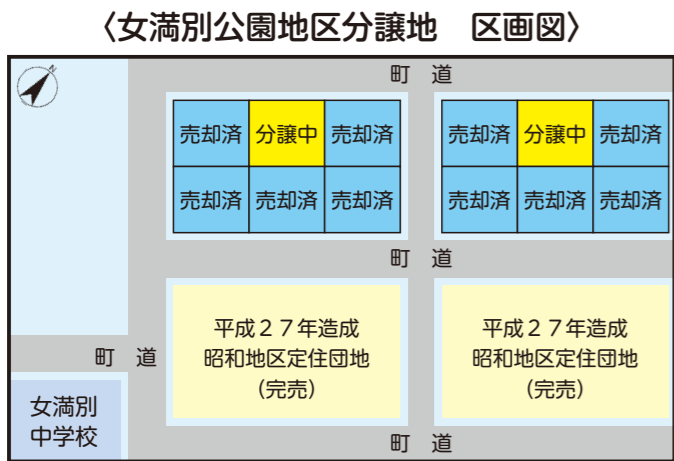
問 大空町においても移住・定住者の受け入れ体制を整備し、住みやすい環境づくりを図るため、宅地の造成がされましたが、両地区の現況はどうなのか。

町長 近年は、職員住宅や町営住宅を解体した跡地の活用という手法で取り組まれました。郊外にまとまった土地を求め続けていけば、市街地の空洞化が起きてしまつていくので、当面は市街地に点在している町有地を区画割りして分譲するという方策を考えています。

問 大空町の住宅に關する施策ですが、町が分譲する宅地に住宅を新築して移住定住をしようとする子育て世代には、いきいき子育て支援事業として建築費用を助成しています。それらも含め、子育て世帯の住宅支援はどうなっているのか。

町長 平成27年度から、いきいき子育て住宅支援補助金制度を設けています。子どもがいる世帯、また、夫婦いづれかが40歳未満である世帯が町の分譲宅地を購入し、2年以内に住宅を新築する場合、建設費用の3分の1以内で町内事業者が施工する場合は200万円、町外事業者が施工する場合は100万円を限度として補助金を交付しています。

問 最近、若い人が中古物件を購入し、改修などをして暮らす人が増えています。若い人が空き家を購入し、そこに住むことによつて、町内会の活性化にもつながってくると思うので、中古物件を購入する子育て世帯に対し、支援の増額をするべきではないか。



浄化対策は国への働き掛けが必要

町長▼関係団体含めて要請活動に取り組み

問 網走湖の浄化対策と内水面漁業の現状と課題について伺う。

①過去数年間、国による網走湖の浄化対策等が行われてきたが、成果と現状、今後の取り組みについて。②内水面漁業の現状と課題について。③船着き場の整備など、漁業・観光面で湖の活用を拡大すべきと思うが。

町長 網走湖の浄化対策は、平成5年から29年度を目標年次とし、青潮発生の抑制、アオコ発生頻度の低減、湖内閉鎖性水域の水質改善を図るため、呼人浦と女満別湾での浚渫工事、水草の刈り取り、大曲堰の設置

などが進められてきました。

現在は、国において毎年モニタリング調査が行われており、水環境の改善目標は、おおむね達成している状況です。

網走湖の漁業はワカサギやシジミ、シラウオ、エビなどで、女満別地区の漁家戸数は11戸、後継者がいないと言われていて、3戸と聞いています。

近年、湖内の塩分濃度の低下により2年続けてシジミの産卵が確認されていないという状況になっており、この事態を踏まえ、西網走漁業協同組合を中心にヤマトシジミ資源対策検討会で調査研究を行っているところで

す。

船着き場の整備など漁業、観光面での活用は、現在、河川防災ステーションの整備を進めており、非常時はもちろん、平時には町として、さまざまな活用を考えていかなければなりません。

また、アウトドア関連企業との包括連携協定の締結を予定しており、こういった中で湖を活用した体験型観光の開発などの議論を進めていかなければならないと感じています。

問

女満別小学校から児童館までのアクセス道路の整備について伺う。①現在の女満別小学校から児童館まで、児童が歩いている状況をどう認識されているか。②女満別小学校横の昭和中央線と児童館前の中央12線東線を直線で結ぶなどの道路を整備し、児童が少しでも短時間で小学校から児童館に移動できる環境整備が必要ではないか。

町長

女満別小学校から児童館までの移動経路は大正橋西線を下り、福住女満別線を横断し、大正橋東線を上り、運動公園線に入るのが通常の経路です。

ご提案の新しい道路整備については、優先順位としては低いと考えており、当面、現在の路線を維持し、安全な歩行空間をしっかりと確保し、対応したいと考えます。

問

いろんなところで事故が起きています。少なくとも学校を出てから短時間で児童館に着くことが必要であり、前向きに検討することが必要だと思つが。

町長

歩道の拡幅、川へ断歩道の設置、照明設備の充実など、さまざまな対策を講じておりますので、現況の道路の中で、安全を確認しながら、児童センターに向えるかというところでご提案をいただければ、それに向けて努力してまいります。

女満別小学校から児童館まで安全な道路環境が必要

町長▶優先順位は低い、現況の道路の中で検討実施する



アクセス環境の改善が望まれる「めちやいるど館」



さんじょうゆき お 三條幸夫 議員

行われていなければ水草刈りも行われていない。町長を先頭に国に働き掛けることが必要では。

町長

町独自で要請する場面もあるかと思いますが、基本的には、関係団体、道、市、町と併せて要請活動を進めていくことが必要だと思っています。



次期浄化対策が待たれる「網走湖」

問

公金による債券購入のリスクと責任について伺う。複数の職員が関わって公金の債権化に取り組み判断をされているのか。もしもの時の責任は誰が取るのか。

町長

町では現在、奨学基金を除き、12の基金を有しています。市場金利は低い水準で推移しており、いかに効率的な基金運用を行うか苦慮している状況です。

このことから、安全性の高い国債証券、地方債証券、政府保証債の中から一定の利回りが見込める債券を減債基金で購入し、平成29年度から債券運用を開始したところで

す。

これらのリスクと責任については、地方自治法では会計管理者の職務として現金、有価証券等の財産の出納及び保管などが定められており、また、町長の責務として会計管理者を監督しなければならぬとされていますので、責任は町長である私を負うこととなります。

問

複数の職員が債券の仕組みを共有し、責任を持って公金の運用をすべきと思うが。

町長

公金の運用、取り扱いについては、私の責任で再度考えたいと思います。

問

両地区図書館の現状と課題について伺う。①貸出しの状況と防犯対策等の課題について。②図書館利用者の情報の取り扱いについて、警察から任意の捜査協力を求められたら提供する、提供しないという判断が道内の公立図書館で分かれています。大空町はどう対応されているのか。

教育長

図書の出し状況は、女満別図書館が平成30年度3万3千952冊、対前年比0.6%の減。東藻琴図書館が2万1千636冊、2.1%の増となっています。人口の減少に伴い、図書館利用者も減少傾向が見られますが、蔵書の更新、図書館司書の学校配置による児童生徒の読書活動などにより、貸出し冊数はわずかながら増加したと分析しています。

図書館は、町内外から不特定多数の方が自由に利用できる施設となっているため、防犯対策は図書館利用者をはじめ、職員を守る上で大変重



貸出冊数が増加した「東藻琴図書館」

公金の資産運用は慎重に

町長▼私の責任において実施

早いもので昨年からの5回の定例議会にて一般質問をさせていただいていますが、準備不足で納得できないような内容になっていません。町民の皆様の目線で努力させていただきます。

しょうらい みす まちの将来を見据えて

～総務厚生・産業建設文教 両常任委員会で「所管

CHECK 議会でチェック! 事務調査」を実施しました～

Q 所管事務調査とは？ 議会が自主的に常任委員会で所管する事務を取り上げ、積極的に調査するもの。委員

員の認識や理解を深め、専門的審査を高めるために行います。

7月23日に産業建設文教常任委員会、8月6日に総務厚生常任委員会が、それぞれ所管する事務の中から今チェックすべき施設等を調査しました。その内容について、主なものをお知らせいたします。



齋藤委員 松岡委員 後藤委員
田中副委員長 原本委員長 深川委員



産業建設文教 常任委員会



総務厚生 常任委員会



三條委員 松田委員
上地副委員長 沢出委員長 品田委員



選定地を変更した大空八景



改修工事中の信金旧東藻琴支店



地区内の70戸へ給水する大成浄水場



雨漏り対策が必要な研修会館

①大空八景の新地点の状況について〔東藻琴地区〕

・眺望や景観を損ねる雑草や立木の処理について、土地管理者の北海道と協議し対応を講じること。

②ひがしもと乳酪館の今後の改修工事について

・売上は、ふるさと応援寄附金の返礼品や道の駅のオープンにより伸びているが、更なる体験型観光メニューによる事業展開を望む。

③網走信用金庫旧東藻琴支店の改修工事及び駐車場整備の進捗状況について

・商工会の入居により多目的に利用されることが想定されることから、玄関前に車イス用のスロープの設置を検討すること。

④東藻琴図書館の貸出状況及び管理運営について

・館内未設置となっている防犯カメラの設置予定箇所（2箇所）を確認した。

⑤女満別地区浄水場の施設状況について

・施設の管理にあたり、専門知識を有する人材の育成が必要であることを確認した。

⑥女満別地区下水道ポンプ場等の施設状況及び改築更新について

・網走市へ送水するポンプ場は、適切に管理されていることを確認した。

・マンホールは、計画的な腐食対策が必要であることを確認した。

⑦女満別図書館の貸出状況及び管理運営について

・防犯カメラ9台を設置し、防犯面にも配慮していることを確認した。

⑧女満別研修会館・ゲートボールセンターの利用状況及び管理運営について

・研修会館の2階郷土資料室に雨漏りがあり、貴重な展示物に悪影響を及ぼす恐れがあるので、修繕等の対応を願いたい。



東藻琴福祉会からの説明



女満別福祉会からの説明



危険家屋が撤去された土地



児童館「のんきっず館」の様子

①女満別中央病院の運営状況及び課題等について

・患者の利用しやすい環境、持続可能な地域医療確保のため、今後とも支援が必要であることを確認した。

②福祉会の訪問介護事業及び通所介護事業の現状について〔両地区〕

・訪問介護、通所介護ともに介護報酬の改定により厳しい経営状況にあるが、このサービスを継続するための環境整備が必要であると認識した。

③廃屋等解体撤去補助金の利用状況について〔両地区〕

・解体撤去補助金を活用し、町内における廃屋や危険家屋が解消され、防災や景観の向上に効果を発揮していることを確認した。

④児童館「のんきっず館」の利用状況について

・東藻琴小学校と併設されていることで、安心して施設が利用されていることを確認した。

・以前に比べると十分な広さが確保されていることから、保護者からの意見も好評であると伺った。

⑤障がい者福祉センター「ちあふる」の障がい者相談支援事業の現状について

・利用者が増加傾向にあることから、地域実態を踏まえた新たな事業展開の必要性を確認した。

⑥合同納骨塚の利用状況について

・昨年暮れに建立された合同納骨塚の現地と、現在の利用及び生前予約の状況について確認した。

・建立して間もないことから、今後も住民周知に努めること。



真新しい「合同納骨塚」

Voice 声 町民の

「人」を育む町

大空町に感謝!



長谷川 順子 さん
(大空町立東藻琴小学校長)

本校は、112年の歴史をもつ伝統ある学校です。地域の皆様に支えていただき、「生きる力」を育む教育活動を行っています。3年前には、校舎大規模改修工事在校舎内外の教育環境が整備されました。また、昨年は新体育館が増築され、旧体育館が取り壊されました。子供達は、現在広い体育館でのびのびと活動しています。さらに、体育館の横には児童館が新設され、放課後の子供達の活動も広がりました。

● このように、「人」を育む町づくりをしている大空町だからこそ、次代を担う子供達の教育環境の充実に力を入れてくださっているのだと、感謝の気持ちでいっぱいです。
● 学校としても、教育内容の充実に努め、子供達の夢の実現に向けて取り組んでまいります。また、ふるさと大空町を愛し、ふるさと大空町を支えられる人材を育てていきます。今後とも学校教育にご支援を賜りますようお願い申し上げます。



藻琴山登山口からの風景です。心が洗われるような素晴らしい眺めです。(田中)

板金塗装・新車・中古車販売

(有)杉本車輦工業

代表取締役 杉本 実

〒099-2306
網走郡大空町女満別湖畔4丁目

Tel/ **0152-74-3781**
Fax/ **0152-74-4419**

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

編集後記

元号も平成から令和に変わり、時間の流れの速さを感じるところです。

パソコン、スマホの画面文字は真剣に見入る時、新聞活字はなれないよう願うところです。

広報常任委員会も2年目に入り、見て、読んでもらえるように、各委員が紙面作りに取り組んでいます。

今後共にご指導・ご意見を宜しくお願い致します。

(深川)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

- 議長 近藤哲雄(発行責任者)
- 委員長 深川 昇
- 副委員長 上地史隆
- 委員 田中裕之
- 委員 三條幸夫
- 委員 後藤 忍

今後ともよろしく願っています。



議会だより「おおぞら」
第53号

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

発行/大空町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191
ホームページ <http://www.town.ozora.hokkaido.jp>